

グループ補助金の採択を通じた商店街再建支援

住所	宮城県気仙沼市鹿折地区	資本金	-
代表者	佐川 眞一	従業員数	-
創業年	-	売上高	-
業種	写真店、衣料店、米店、海産物店等		
TEL	-	URL	-

事業概要(被災前)

- ・同商店街は、気仙沼鹿折地区の地元住民の日用品等を求める買い物客でにぎわいがあり、生活基盤を支える同地域の中心的な商店街として親しまれてきた。
- ・代表者が営む写真店をはじめ、洋服店、海苔等の海産物、米店等、31店舗があり、多種多様な店が営まれていた。



被災前のかもめ通り商店街

被災概要

- ・津波にて被災し、商店街全体が営業不能となった。
- ・6店舗の経営者が津波で命を失った。
- ・現在は別の地区で、一部の店舗ではあるが仮設商店街にて営業再開を果たしている。



被災した気仙沼市内



鹿折地区に打ち上げられた漁船

復興に向けた状況や課題

- ・商店街の再興を行う際の資金確保について。
- ・新たな商店街組織を形成するにあたっての組織運営。
- ・商店街のメンバー構成(テナントミックス)について。
- ・グループ補助金の申請についての検討。
- ・被災前に営んでいた事業をそのまま復旧した場合の事業継続性(市場性)。



支援テーマと内容

「まちづくり会社との連携による商店街の再興支援」

資金調達手段として、グループ補助金の申請を行う事が決定。まちづくり会社と連携して、商店街再興計画を進めていく事となった。分担としては以下の通り。

- ・商店街の事業コンセプト、テナントミックスについての検討。 → まちづくり会社が担当
- ・グループ補助金の申請支援、新事業分野進出の為の事業計画作成支援。 → 中小機構が担当
 - * 中小機構の支援内容
 1. 共同事業の計画作成支援。
 2. 新分野事業についての申請書作成支援。
 3. グループ補助金申請にあたっての必要書類の確認、記入要領のポイント指導等。



復興への一歩を踏み出した
かもめ通り商店街の皆さま



かもめ通り商店街再建イメージ図



現在営業中のかもめ通り商店街(仮設店舗)



支援の成果

- ・グループ補助金の共同事業の策定について、グループメンバーの特徴を考慮した効果的な共同事業を策定。
- ・グループ補助金の申請にあたり、補助金申請書に記載する際のポイントを理解。
- ・既存事業を復旧するだけでは売上の回復が見込めない事業者に対し、新分野事業についての制度を紹介すると共に、新分野事業についての事業計画の策定についてアドバイスを行うことで計画が明確化。
- ・グループ補助金第15次申請を行い、結果無事採択が決定。その後の交付申請に至るまで、手続き等の支援を実施。

今後の事業展開

- ・平成28年3月以降、商店街の建設予定地である土地の造成が終わるのを待って、工事着工。
- ・平成28年末に工事完了予定であり、新生かもめ通り商店街がオープンする。
- ・商店街の賑わい創出の為に以下の施策を実施する。
 - ①2日市
コミュニティスペース等を利用して、地元製品の販売等を実施。
 - ②商品宅配事業
商店街として一括注文を受け、商品を揃えた上で宅配する。(買い物弱者対策として)
 - ③お祭り
被災前に行っていた「カモメ祭り」を承継。鹿折の文化を次世代に伝える。
 - ④職業見学・体験
小中学生を対象に、子供たちの職場見学及び体験を実施。

事業者からのコメント

震災に見舞われてから早5年以上の月日が流れました。未だ仮設店舗での営業であり、商店街の再興に向けて何とかしたい！という強い思いがかねてからありましたが、資金的な課題も含めて中々一歩前に進む事ができませんでした。今回グループ補助金の申請に当たり、申請書を手にとってみたものの、記入する箇所も多く、またどのように記入したら良いかもわからない状況で、途方に暮れていたところ、震災復興支援アドバイザーのわかりやすいご指導のおかげで、無事申請書の提出を終え、採択されるに至りました。今後共同事業を行っていくに際し、問題は山積しておりますが、引き続きご指導いただければ幸いです。今後とも宜しくお願い致します。



かもめ通り商店街代表
佐川写真館佐川真一氏
(写真前段中央)

震災復興支援アドバイザーからのコメント

今回はグループ補助金の申請支援という事で支援させていただきました。賑わいを創出させるためにどのようなイベントを行うのが良いのか、資金計画・行動計画は妥当か等の議論を深めていく中で問題点を把握する事ができ、その結果実現可能性の高い共同事業の策定ができた事と思います。個社によっては新分野事業への進出についても検討を行い、単に復旧するだけでは売上の回復が見込めない事業者様に対し、効果的な事業計画の策定を行う事ができました。今後商店街を実際に運営していく中で様々な課題が発生する可能性もありますが、継続的に支援させていただければと考えておりますので、今後とも宜しくお願い致します。



震災復興支援アドバイザー
中小企業診断士 鈴木たすく